

まーくんとはかせが解説!

どう使うの?札幌市のお金

市の1年間のお金の使い方をまとめた「平成24年度予算」が完成しました。
 厳しい経済状況が続く中、札幌市のお金はどう使われ、
 私たちの生活はどう変わっていくのでしょうか。
 まーくんとはかせと一緒に、その内容を見ていきましょう。

平成24年度
予算
 を紹介

山田さんご一家

この特集に関するお問い合わせは財政課☎211-2212へ

僕たちが解説します

はかせ

まーくん

今年の札幌は
 どうなるのかな?

24年度の一般会計予算は8,522億円。前年度比1.6%減

予算は1年間の収入と支出の見込みを表したものです。
 市の基本的な仕事をまとめた一般会計予算は、東日本大震災復興支援資金貸し付けが
 減ったことなどにより、前年度と比べて137億円減少しました。
 (東日本大震災復興支援資金貸し付けなどによる減少分を除いて比較すると、26億円の増となります)

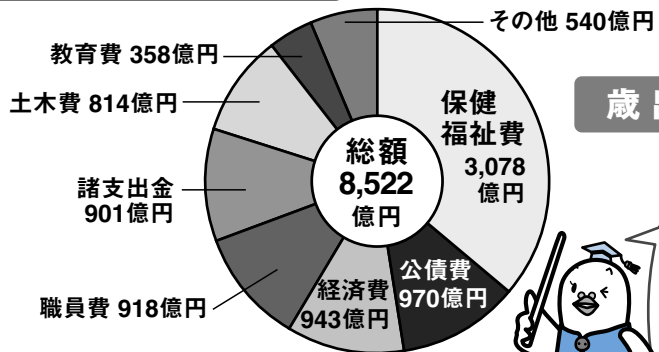
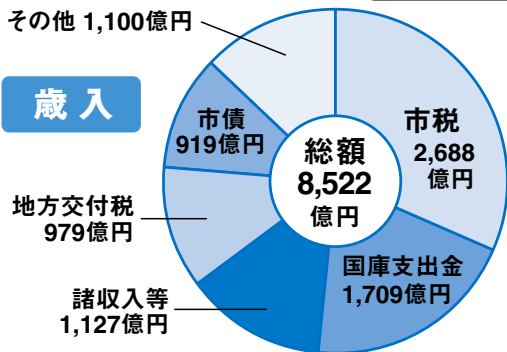


一般会計 8,522億円
 福祉や教育、除雪など市の
 基本的な事業の会計

特別会計 3,410億円
 国民健康保険、
 介護保険など、一般会計と
 区別が必要な会計

企業会計 2,496億円
 水道、地下鉄など
 料金収入で運営している
 事業の会計

一般会計予算の概要



福祉や医療などの
 保健福祉費にたくさん
 使われるんだね!

■市民1人当たりの市税の負担

139,754円/年

- 固定資産税 (53,366円)
- 都市計画税 (11,501円)
- 個人市民税 (46,987円)
- たばこ税 (7,599円)
- 法人市民税 (12,925円)
- その他 (7,376円)

■市民1人当たりのサービスに掛かる費用

443,075円/年

- 福祉・保険・医療など (171,725円)
- 産業振興・観光・農務など (49,503円)
- 道路・公園の整備など (47,854円)
- 学校教育・消防 (39,045円)
- 下水道・地下鉄などへの繰出金 (46,904円)
- その他 (88,044円)

中小企業への融資制度を より使いやすく

883億2,700万円



食・観光・環境・健康・福祉に関わる企業を支援する「札幌みらい資金」の利率を引き下げ、申請手続きも簡略化して、より使いやすくします。また、中小企業全般を対象とした「産業振興資金」に、利率の低い「短期サポート特別枠」を新設します。

経済・都市整備

札幌市は、頑張る企業を応援しながら、街の経済を元気にする新しい取り組みに力を入れていくよ！

札幌は景気があまり良くないと聞けど、企業が盛んに活動して、僕たち市民がばりばり働ける街になってほしいな！



新型低床車両を導入し路面電車のループ化を検討

デザイン性に優れ、乗り降りしやすい新型低床車両を導入（運行は平成25年春ごろ）。また、西4丁目とすすきのをつなぐ路線のループ化に向け、軌道の設計などを進めます。



4億9,500万円

札幌でのロケ撮影を積極的に誘致

「世界が最も映像を撮りたい都市・札幌」を目指し、映画などのロケ誘致を推進。多岐にわたる申請手続きを1カ所で行えるようにするほか、撮影費に対する助成も行います。



4,430万円

北海道の食の価値を高める研究を支援

東アジアの食産業の拠点都市を目指し、「北海道の食」の付加価値を高める研究を推進。厚別区のエレクトロニクスセンターを、食・バイオ関連の研究に対応できるように改修します。



1億7,950万円

新たな駐輪場を整備

自転車の迷惑駐輪を減らし、歩道を歩きやすく保つため、都心部と地下鉄駅周辺に駐輪場を整え、整理員を配置します。

- 都心部…約150台
- 北24条駅周辺…約1,000台
- 麻生駅周辺…約500台



4億9,357万円

駐輪場のイメージ(宮の沢駅)

まちづくり・文化

1,000万円

質の高い演劇の公演に助成

優れた演劇作品の公演事業に対して、会場の確保や広報に掛かる費用などを助成。市民や観光客が質の高い演劇を楽しめる機会を増やしていきます。

地域の活動拠点を整備



平成19年に改築された中の島まちづくりセンター・地区会館

白石まちづくりセンター・地区会館を改築するほか、老朽化した地区会館の全面改築や利便性を高めるための改修に係る設計などを行います。

2億6,480万円

カーリング場を建設



24年9月オープンだよ！

豊平区月寒に市民が気軽に利用できる通年型のカーリング場を開設します。オープン時には記念イベントを実施します。



私立保育所の整備を推進

18億3,247万円



私立の保育所に対して建築費などを補助。11カ所の保育所の新設と、すでにある保育所の増改築などを進めていきます。これに伴い、保育所の定員を1,000人増やします。



認可外保育施設の運営費を補助

6,726万円

保育士の数や施設の面積など、一定の基準を満たした認可外保育施設に対して、運営費を補助します。これにより、市内の保育環境をより充実させていきます。



預かり保育の運営を支援

2,448万円

預かり保育を実施する私立幼稚園に対し運営費を補助。共働きなどにより家庭で保育できない幼児が、幼稚園に入園しやすい環境を整えていきます。



中等教育学校を設置

1億3,200万円

市立開成高校を改編し、新たに中高一貫教育校として開校します。実験や体験学習を重視したカリキュラムにより、生徒の個性を尊重した学びの場をつくります(開校は平成27年度)。



子育て支援住宅を建設

12億7,302万円

小学生未満の子どものいる世帯を対象とした市営住宅を、東雁来に建設。駐車場やエレベーターなどを備え、比較的安い家賃で居住できる住まいを整えます(平成26年度から一部入居開始)。



環境

脱原発依存社会の推進

5,600万円

LED電球の使用を後押しするキャンペーンや、再生可能エネルギー導入に向けた調査など、原発に依存しない社会を目指した取り組みを行っています。



太陽光パネルやペレットストーブなど、環境に優しい機器を導入する個人や団体に費用の一部を補助し、地球温暖化対策を進めていきます。

5億1,750万円

新エネルギー・省エネルギーの導入を支援

7億8,960万円

円山動物園にアジア・アフリカゾーンを新設



レッサーパンダの空中歩行など、動物の行動が間近に見られる施設を建設します。アジアゾーンは25年1月、アフリカゾーンは27年6月にオープン予定。

市有建築物を耐震化

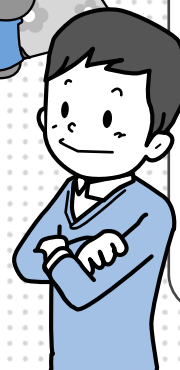
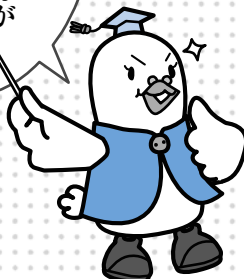
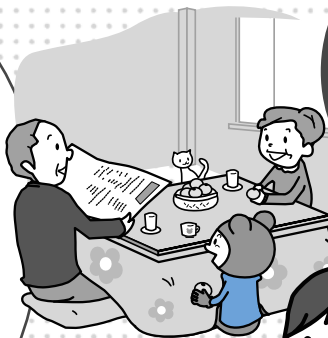
84億5,280万円



区役所や区民センターなど、災害が起きた際に市民の避難場所となる施設を補強し、耐震化する工事をを行います。また、子どもたちの安全を確保するため、学校の改築や耐震化も実施します。

安心・ぬくもり

災害に備えるとともに、高齢者や障がいのある方が札幌で安心して元気に暮らしていけるよう取り組みを進めていくんだ



東日本大震災があつてから、災害への備えがとて重要なんだなつて思ったよ。これからは高齢者も増えてくるし、安心して暮らせるまちにしてほしいな

市民防災センターをリニューアル

9,800万円

東日本大震災などの教訓を生かし、津波映像や暴風体験のコーナーを新設。さらに、高層階での揺れを体感できるコーナーも加え、災害について幅広く学べる施設にリニューアルします。



25年3月オープン

特別養護老人ホームの新築に補助

5億2,800万円

介護を必要とする高齢者が安心して暮らせる環境をつくるため、施設を整備する事業者に建設費用の一部を補助。新たに3カ所の特別養護老人ホームを整備し、定員を240人増やします。



中央図書館に元気カフェを整備

2,750万円

障がいのある方が働き、コーヒーやパンなどの軽食を提供するカフェを中央図書館ロビーに新設。障がいに対する理解を深める場としても活用していきます。



24年12月ごろオープン

市役所1階の「元気カフェ」

(仮称)障がい者虐待防止センターを設置

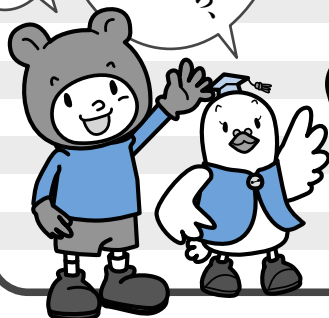
574万円

障がいのある方への虐待を防ぐため、広く虐待の通報や相談を受け付けるほか、予防や早期発見に向けた啓発を行う窓口を新設します。
■場所:中央区大通西19 社会福祉総合センター内



24年10月に設置予定だよ!

市はこうした取り組みを進めながら、みんなが笑顔で安心して暮らせるまちをつくっていくよ みんなで協力して一緒に元気な札幌をつくっていくね!



子育て支援などの身近なものから、札幌全体の経済対策まで、市はたくさんの方の取り組みを行っていくんだね

「さっぽろのおサイフ」もご覧ください

市の財政状況を分かりやすく解説したパンフレットです。

配布場所 区役所、市役所2階 市政刊行物コーナー

※24年度版は、4月中旬から配布予定。



さらに詳しい予算の内容は、ホームページ www.city.sapporo.jp/zaisei/kohyo でご覧になれます。